

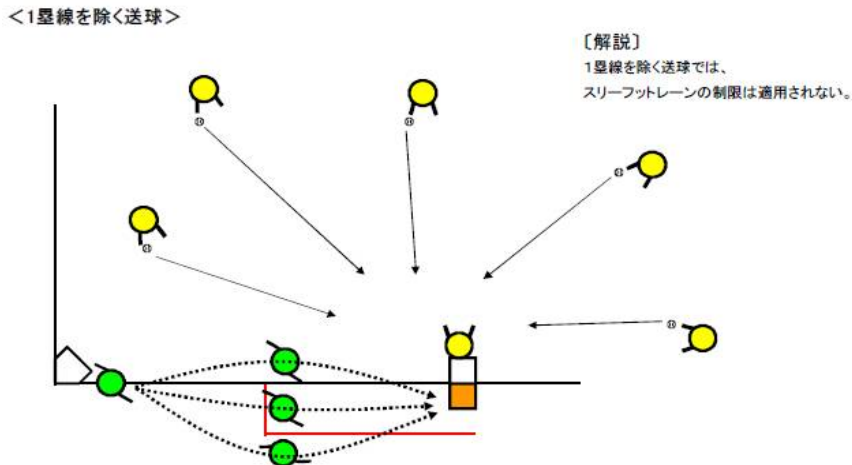
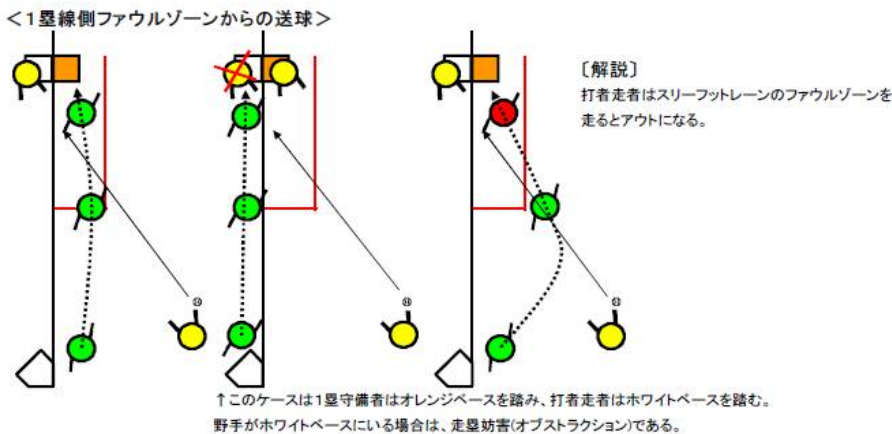
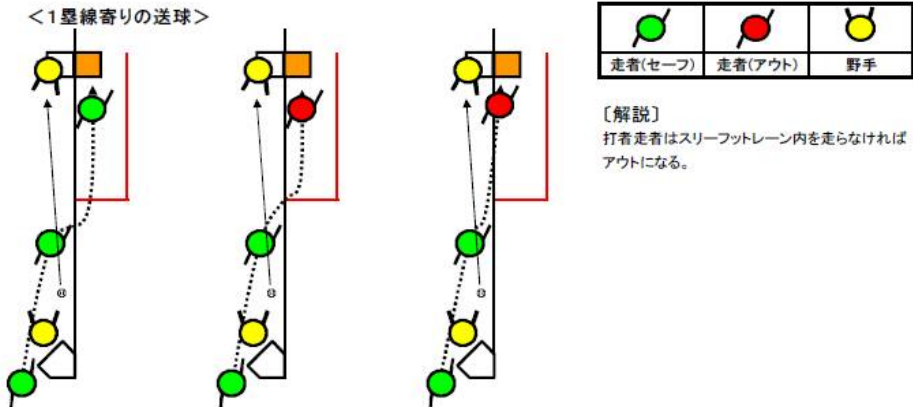
【スリーフットレーン】

ルールブックを見てもわかりにくいこのルールについて解説します。

スリーフットレーン(91cm)は塁間を結ぶ線(=走路)の両幅を言う。
走者は、守備側のプレーが発生しない場合は、適用されない。

CASE① 打者走者がスリーフットレーンの外側を走って一塁で送球を処理しようとしている野手の守備を妨害したと審判員が判断したとき。

1塁線における打者走者と野手のプレーでは、送球が重なる危険性があるため打者走者に有利になる。これを公平にするため、1塁ベース側に走路の制約を設けている。



CASE② 走者が野手のタッチをかわすために越えたとアウトになる。

CASE③ 走者は野手が走路で守備動作をしているときは、その野手の前後ではスリーフット(91cm)を越えて走ってもよい。

CASE④ 長打で打者走者が膨らんで走ると、オーバーランする可能性がある。その際、走者が帰塁するために野手を避けようとして動ける範囲は、ベースを中心としたスリーフット(91cm)以内で、これを越えると、走者はアウトになる。

